



こんにちは！ 細木りょう です。

日本共産党高知県議団ニュース

発行 日本共産党高知県議団
編集 細木 良
No.749
2024年8月11日・18日
県議会控室 823-9524
ファックス 823-9075
携帯090-8972-1478
高知市介良乙3668-11

能登半島地震から7か月

元日に発生した能登半島地震から7か月が経過しました。7月22日から24日まで岡本和也県議、白川よう子衆院四国比例候補、四万十市議らと現地を視察調査してきました。

倒壊した家屋や車などが放置され、復興の遅れを目の当たりにしました。万博への人材流出やボランティア不足が要因のようです。仮設住宅では孤独死がすでに発生、日を追うごとに震災関連死も増加しています。被災者に寄り添った支援施策が弱すぎます。また珠洲原発予定地も訪問、住民の粘り強い運動で建設阻止した取り組み等お伺いしました。

今回の調査で学んだことは南海トラフ地震対策にしっかり活かせるよう議会で取り上げていきます。

特定利用港湾指定回避を求める

キックアップ集会

8月19日(月) 18:00 県民文化ホール4F



(左上) 4m隆起した黒島漁港 (左下) 輪島の火災現場 (右) 断層のずれで土地が大きく変化した農地

ウクライナ侵攻の惨劇を伝える上映会

マリウポリの20日間

8月25日(日) ①13:30②16:00③18:30

自由民権記念館県民文化ホール4F

一般1300円 中高生・障害者500円(チケットあります)

細木りょうの“まいゆう日誌”

○(写真左) 7月27日、党ジェンダー平等委員会が主催した学習会「少子化は若い女性のせいなのか?」が開催されました。(講師:佐藤洋子高知大准教授)女性の活躍は「雇用」でなく「結婚・出産・子育て」に位置づけられ、産む・産まないなど選ぶ権利=リプロダクティブ・ライツが全く尊重されていないことが問題であると指摘。トークセッションでは、男女の賃金格差、女性の不利な働かされ方、子育ての費用が高すぎる事などが報告されましたが、日本社会のあり方そのものの行き詰まりが結局少子化につながっていると痛感しました。

○(写真右) 8月3日・4日、原水爆禁止世界大会国際会議に初めて参加しました。日本政府は79回目の原爆の日を迎える直前、米国との閣僚会議で「拡大核抑止」を確認するなどアメリカの核の傘依存をさらに強めています。またロシアやイスラエルは核兵器による威嚇を繰り返しており、核戦争の危険がいっそう強まっています。来年は被爆80年を迎えます。被爆国日本はすみやかに核兵器禁止条約に参加し、「戦争やめよ、核兵器は断じて使用してはならない」と高らかに世界に発信する、そんな国に変えなければなりません。



はみだしヴォイス 日曜版は8月合併号発行などのため次回ニュースは9月となります。猛暑をどうかお元気に乗り越えてください!
※前回ニュースで修正案の採否について、共産のみ「反対」でなく「賛成」に修正します。ご指摘ありがとうございました。